

このほど、ジャック・フィリップ神父（1947年〜）の著書『司祭の靈的父性―土の器の中の宝』が発行された。翻訳・出版を手掛けたのは2021年に一人で出版業を始めた長与教会信徒の戸口民也さん（長崎外国語大学名誉教授）。現在、ウェブサイトを通して電子書籍の形式で販売されている同書。発行に至った思いなどを分かち合っていたいただいた。

『司祭の靈的父性』発行

父性は大きな喜びの源泉

長与教会信徒 戸口民也

この8月にフランスの

だからです。

司祭ジャック・フィリップの『司祭の靈的父性』という本を翻訳・出版しました。なぜこの本を？それは、フィリップ神父がこの本のはじめで語っている次の言葉に共感し

「この小著を通じて、わ

たしの兄弟である司祭たちを励ますことができるよう願っています。彼らはそれを大いに必要としていますから、その召命の豊かさ美しさを信じられるよう助けたいと思っています。司祭の召命はとても難しく骨の折れるものですが、父性は大きな喜びの源泉でもあるのです。命を伝えることほ

ど美しいことはありません。とくにその命が永遠の命、神の命そのものであるとしたら」

日本の神父様たちにもこのメッセージを伝える必要がある―この本を原書で読み終わったとき、わたしはそう感じ、翻訳を始めました。

わたしは4年前に戸口書店という一人だけの出版業を始めましたが、そもその目的はフィリップ神父の本を日本に紹介するため、今回の本を含めこれまでに6冊出版してきました。それぞれのテーマは、心の平和、内的自由、祈り、信頼と愛、聖霊の導き、そして司祭の靈的父性です。

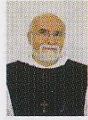
神との親しい交わりを深めつつ聖性を目指すにはどうすればよいか―それをフィリップ神父は明快な言葉で説明してくれます。あわせて、カトリックの信仰とはどうい

うものか、わたしたちはどういう姿勢でこの信仰を生きていけばよいのかも、具体的かつ実践的なかたちで教えてくれています。

『司祭の靈的父性』に話を戻せば、この本は司祭だけではなく、一家の父親、教師、組織や共同体で指導的な立場にある人にも示唆を与えてくれるでしょう。それは男性だけに限りません。同じような立場にある女性たちや一家の母親にも、「父性」とはどういうものかを、さらには「母性」についても考える機会となるに違いありません。

*同書は「戸口書店」のウェブサイトから購入可能。単行本ではなく、電子書籍（EPUB版やPDF版）もしくはプリントサービスの形式。いずれも税込990円。

ジャック・フィリップ
司祭の靈的父性
土の器の中の宝



PSB版

戸口民也訳

戸口書店

ISBN978-4-9913542-4-3